

【地域の概要】

- 岐阜県の中南部に位置し、総面積90.47km²のうち約90%を標高200から700mの森林が占めており、平地は極めて少なく、木曽川水系に属する飛騨川、神湫川及びこれらの支流の渓谷沿いに農地が点在する中山間地域である。
- 若年層を中心として人口流失が著しく、高齢化、離農が進行しており、重ねて町外居住者による農地相続等により、不在村農地かつ耕作放棄地が増加している。

①取組開始前の状況や課題

- 農業従事者の減少、不在村農地の増加による優良農地の遊休化の加速。
- 農業機械の更新や農業収入など農業収支のアンバランス化による離農。
- 世代交代（世代ギャップ）による離農。
- 遊休農地面積（田 1.1ha）
これまでの集積面積（0.8ha）
集積率（0.39%）

②取組内容

地域農業の課題の話合い

- （一社）全国農業会議所の進める「農業者等との意見交換会」を契機として農業委員会と営農組合（2組合）及び農業組織等（中山間地域等直接支払（4組織）・多面的機能支払（11組織））の代表者が一同に会し、地域農業の課題を持ち寄り、七宗町の課題として考え、議論を深め、より良い対策を検討する場の提供する。
- 公的資金投入による農地及び施設の保全や改修を推進する。



③今後の展開と方向性

営農組合が活動している地区

- 営農組合（2組合）は、健全化経営を基本とし、規模拡大と法人化を目指し地域農業の担い手になるべき支援をする。

営農組合がなく自作が中心の地区

- 農業組織等を核に2～3の集落や農事改良組織を連携し一体となって、個々の零細農家を組み込んだ新たな営農組合の設立を目指す。

新規参入支援・担い手育成

- 新規就農者の擁立と自立を支援し、新たな担い手へと導く努力を図る。